



遠回りしたけどびわこ学園に来てよかった。

看護師として十数年になる。こどもが好きで、ホスピタルプレイスペシャリスト、小児アレルギーエディケーター等々の資格を取得し、小児を専門とした病院・施設、訪問看護で子どもたちのために活動し続け、障害児との関りをへて、びわこ学園に2020年11月に見学に来られました。

2021年3月に医療福祉センター野洲に勤務された、山沢看護師のインタビューをお届けいたします。

Qびわこ学園を選ばれた理由は？

山沢「こどもが好きなので、ずっ〜とこどものそばに居られる職場がよかった。」

Qなぜ、こどもが好きに？

山沢「こどもたちは、日々成長しできることが増え、無限の可能性を感じる。」

Qびわこ学園の現実、小児ばかりでなく、成人が多いですが？

山沢「皆さん、ピュアです。接していくほどに、私の心の持ち方に気づかされ、優しさや暖かさ、思いやりなど人として大切なものを育ててもらっています。」

Q小児から成人、そして老年とこの施設で歳を重ねておられて方もおられますが？

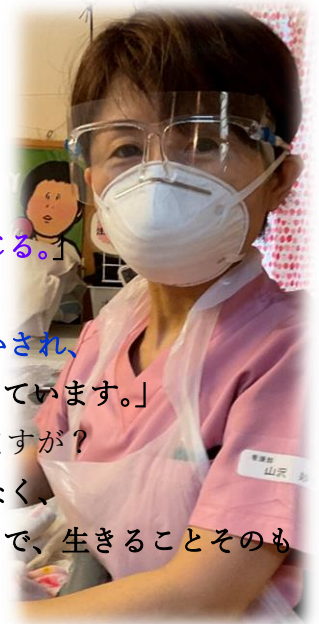
山沢「課題や問題だけをみるのではなく、現状を観ること。成長ばかりでなく、前できていたことができなくなるという時間の経過を見続けることで、生きることそのものに目を向けられます。」

Qもうすぐ1年になりますが、いかがでしょうか？

山沢「見学に来て、部長方々のお話、職場に雰囲気を見て、「いいなあ」と思った。

自分がなんとなくイメージしていた暖かさを、形にして表現してくれている職場です。

利用者さんへの職員に関わり方、環境すべてから湧き出ている雰囲気がとても素敵です。もっともっと、学んで、利用者さんと思いを知り、人生を豊かにできたらと思う。いろいろ遠回りしてきたけど、ここにきて求めていた自分に出会えてよかったと思う。」



毎日仕事に来ることが、わくわくするんです！

と就職されたときに話しておられたことがとても印象的でした。

今、満面の笑みで利用者さんと接している山沢さんの姿を見ていると、利用者さんから学び、寄り添い、

そして時に利用者さんに支えてもらいながら歩んできた1年だったのかなと感じています。



1病棟 看護課長 木幡